

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年12月29日から2021年11月17日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、実質的にアジアのハイ・イールド債券等に投資し、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用） ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。 ・マネー・リクイディティ・マザーファンド
	為替ヘッジなし	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用） ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ・マネー・リクイディティ・マザーファンド
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）／アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）の受益証券への投資を通じて、アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた配当等収益には、マネー・リクイディティ・マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書(全体版)

アジア高利回り社債 オープン（毎月決算型） （為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

第72期（決算日 2017年12月18日） 第75期（決算日 2018年3月19日）
第73期（決算日 2018年1月17日） 第76期（決算日 2018年4月17日）
第74期（決算日 2018年2月19日） 第77期（決算日 2018年5月17日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「アジア高利回り社債オープン（毎月決算型）（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）」は、2018年5月17日に第77期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第72期～第77期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]
<http://www.okasan-am.jp>



※アクセスにかかる通信料はお客様の負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。

【為替ヘッジあり】

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]		債 組 入 比	投 資 信 託 券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
48期(2015年12月17日)	円 9,009	円 70	% △0.8	ポイント 225.418	% △0.6	% 0.8	% 94.7	百万円 167
49期(2016年1月18日)	8,958	70	0.2	226.296	0.4	0.8	95.2	166
50期(2016年2月17日)	8,856	70	△0.4	225.676	△0.3	0.8	94.6	171
51期(2016年3月17日)	8,923	70	1.5	230.976	2.3	1.1	94.9	134
52期(2016年4月18日)	8,968	70	1.3	237.975	3.0	0.7	93.4	138
53期(2016年5月17日)	8,925	70	0.3	240.412	1.0	0.7	94.8	140
54期(2016年6月17日)	8,917	50	0.5	242.399	0.8	0.8	99.3	134
55期(2016年7月19日)	9,015	50	1.7	248.219	2.4	0.7	95.2	140
56期(2016年8月17日)	9,027	50	0.7	250.922	1.1	0.7	94.3	138
57期(2016年9月20日)	8,955	50	△0.2	251.572	0.3	0.8	94.4	131
58期(2016年10月17日)	8,921	50	0.2	253.069	0.6	0.8	95.4	131
59期(2016年11月17日)	8,778	50	△1.0	251.418	△0.7	1.0	93.7	100
60期(2016年12月19日)	8,721	50	△0.1	251.936	0.2	1.6	99.3	94
61期(2017年1月17日)	8,744	50	0.8	255.155	1.3	1.7	107.8	84
62期(2017年2月17日)	8,763	50	0.8	259.028	1.5	1.8	95.2	77
63期(2017年3月17日)	8,718	50	0.1	259.775	0.3	1.5	95.1	89
64期(2017年4月17日)	8,732	50	0.7	261.953	0.8	1.5	95.2	91
65期(2017年5月17日)	8,703	50	0.2	261.222	△0.3	1.5	94.9	88
66期(2017年6月19日)	8,683	50	0.3	262.269	0.4	1.5	95.4	88
67期(2017年7月18日)	8,585	50	△0.6	261.569	△0.3	1.5	95.0	88
68期(2017年8月17日)	8,561	50	0.3	263.398	0.7	1.1	94.9	88
69期(2017年9月19日)	8,570	50	0.7	266.213	1.1	1.2	94.5	83
70期(2017年10月17日)	8,550	50	0.4	267.708	0.6	1.1	95.0	86
71期(2017年11月17日)	8,457	50	△0.5	267.143	△0.2	1.7	94.8	85
72期(2017年12月18日)	8,407	50	0.0	267.736	0.2	1.7	95.5	85
73期(2018年1月17日)	8,369	50	0.1	269.527	0.7	1.7	95.1	84
74期(2018年2月19日)	8,225	50	△1.1	266.936	△1.0	1.8	95.0	83
75期(2018年3月19日)	8,144	50	△0.4	266.943	0.0	2.0	95.5	71
76期(2018年4月17日)	8,073	50	△0.3	266.664	△0.1	2.1	95.5	67
77期(2018年5月17日)	7,843	50	△2.2	261.310	△2.0	2.3	95.5	61

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] は、当該日前営業日の現地終値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] (参考指数)		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率	ポイント	騰 落 率		
第72期	(期 首) 2017年11月17日	8,457	—	267.143	—	1.7	94.8
	11月末	8,456	△0.0	267.487	0.1	1.7	95.6
	(期 末) 2017年12月18日	8,457	0.0	267.736	0.2	1.7	95.5
第73期	(期 首) 2017年12月18日	8,407	—	267.736	—	1.7	95.5
	12月末	8,402	△0.1	268.162	0.2	1.7	95.6
	(期 末) 2018年1月17日	8,419	0.1	269.527	0.7	1.7	95.1
第74期	(期 首) 2018年1月17日	8,369	—	269.527	—	1.7	95.1
	1月末	8,339	△0.4	268.897	△0.2	1.7	95.3
	(期 末) 2018年2月19日	8,275	△1.1	266.936	△1.0	1.8	95.0
第75期	(期 首) 2018年2月19日	8,225	—	266.936	—	1.8	95.0
	2月末	8,238	0.2	267.691	0.3	2.0	95.1
	(期 末) 2018年3月19日	8,194	△0.4	266.943	0.0	2.0	95.5
第76期	(期 首) 2018年3月19日	8,144	—	266.943	—	2.0	95.5
	3月末	8,095	△0.6	265.877	△0.4	2.1	95.5
	(期 末) 2018年4月17日	8,123	△0.3	266.664	△0.1	2.1	95.5
第77期	(期 首) 2018年4月17日	8,073	—	266.664	—	2.1	95.5
	4月末	7,983	△1.1	263.614	△1.1	2.2	95.9
	(期 末) 2018年5月17日	7,893	△2.2	261.310	△2.0	2.3	95.5

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

【為替ヘッジなし】

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]		債 券 組 入 比	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
48期(2015年12月17日)	円 13,757	円 100	% △1.4	ポイント 27,615.92	% △1.2	% 0.7	% 95.1	百万円 124
49期(2016年1月18日)	13,114	100	△3.9	26,487.95	△4.1	0.7	95.2	121
50期(2016年2月17日)	12,684	100	△2.5	25,792.56	△2.6	0.8	95.0	115
51期(2016年3月17日)	12,635	100	0.4	26,065.63	1.1	1.0	95.3	93
52期(2016年4月18日)	12,194	100	△2.7	25,703.67	△1.4	0.8	95.0	84
53期(2016年5月17日)	12,240	100	1.2	26,195.25	1.9	0.8	94.6	84
54期(2016年6月17日)	11,759	100	△3.1	25,386.48	△3.1	0.8	94.9	80
55期(2016年7月19日)	11,998	100	2.9	26,306.24	3.6	0.9	94.6	76
56期(2016年8月17日)	11,417	100	△4.0	25,262.84	△4.0	1.0	97.0	67
57期(2016年9月20日)	11,441	100	1.1	25,647.78	1.5	1.0	94.7	65
58期(2016年10月17日)	11,614	100	2.4	26,382.48	2.9	1.1	95.7	61
59期(2016年11月17日)	11,846	100	2.9	27,339.23	3.6	0.9	75.4	74
60期(2016年12月19日)	12,670	100	7.8	29,635.22	8.4	1.2	95.5	78
61期(2017年1月17日)	12,337	100	△1.8	29,128.52	△1.7	1.3	95.4	75
62期(2017年2月17日)	12,267	100	0.2	29,391.94	0.9	1.2	94.9	74
63期(2017年3月17日)	12,189	100	0.2	29,479.30	0.3	1.3	94.9	72
64期(2017年4月17日)	11,664	100	△3.5	28,366.92	△3.8	1.3	95.3	67
65期(2017年5月17日)	12,048	100	4.1	29,413.62	3.7	1.3	95.3	68
66期(2017年6月19日)	11,844	100	△0.9	29,119.68	△1.0	1.3	94.9	67
67期(2017年7月18日)	11,832	100	0.7	29,408.18	1.0	1.3	95.0	67
68期(2017年8月17日)	11,543	100	△1.6	28,973.81	△1.5	1.0	94.8	65
69期(2017年9月19日)	11,684	100	2.1	29,672.09	2.4	1.0	95.6	65
70期(2017年10月17日)	11,714	100	1.1	30,047.52	1.3	1.0	95.6	65
71期(2017年11月17日)	11,642	100	0.2	30,179.10	0.4	1.5	94.8	64
72期(2017年12月18日)	11,534	100	△0.1	30,189.91	0.0	1.5	94.9	64
73期(2018年1月17日)	11,245	100	△1.6	29,745.01	△1.5	1.6	94.9	62
74期(2018年2月19日)	10,645	100	△4.4	28,375.29	△4.6	1.6	95.7	59
75期(2018年3月19日)	10,489	100	△0.5	28,277.24	△0.3	1.7	96.0	57
76期(2018年4月17日)	10,493	100	1.0	28,554.41	1.0	1.7	95.7	57
77期(2018年5月17日)	10,479	100	0.8	28,830.34	1.0	1.7	95.4	56

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] は、当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] (参考指数)		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率	ポイント	騰 落 率		
第72期	(期 首) 2017年11月17日	11,642	—	30,179.10	—	1.5	94.8
	11月末	11,556	△0.7	29,971.93	△0.7	1.5	95.1
	(期 末) 2017年12月18日	11,634	△0.1	30,189.91	0.0	1.5	94.9
第73期	(期 首) 2017年12月18日	11,534	—	30,189.91	—	1.5	94.9
	12月末	11,563	0.3	30,302.33	0.4	1.5	95.2
	(期 末) 2018年1月17日	11,345	△1.6	29,745.01	△1.5	1.6	94.9
第74期	(期 首) 2018年1月17日	11,245	—	29,745.01	—	1.6	94.9
	1月末	11,058	△1.7	29,253.30	△1.7	1.6	95.0
	(期 末) 2018年2月19日	10,745	△4.4	28,375.29	△4.6	1.6	95.7
第75期	(期 首) 2018年2月19日	10,645	—	28,375.29	—	1.6	95.7
	2月末	10,763	1.1	28,742.01	1.3	1.6	95.8
	(期 末) 2018年3月19日	10,589	△0.5	28,277.24	△0.3	1.7	96.0
第76期	(期 首) 2018年3月19日	10,489	—	28,277.24	—	1.7	96.0
	3月末	10,467	△0.2	28,246.79	△0.1	1.7	95.3
	(期 末) 2018年4月17日	10,593	1.0	28,554.41	1.0	1.7	95.7
第77期	(期 首) 2018年4月17日	10,493	—	28,554.41	—	1.7	95.7
	4月末	10,594	1.0	28,826.15	1.0	1.7	95.8
	(期 末) 2018年5月17日	10,579	0.8	28,830.34	1.0	1.7	95.4

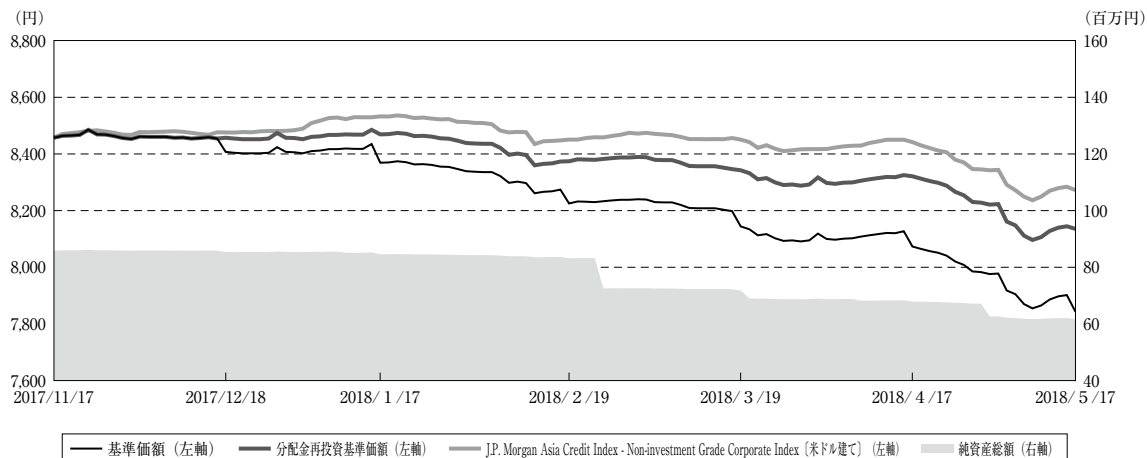
(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2017年11月18日～2018年5月17日）

【為替ヘッジあり】



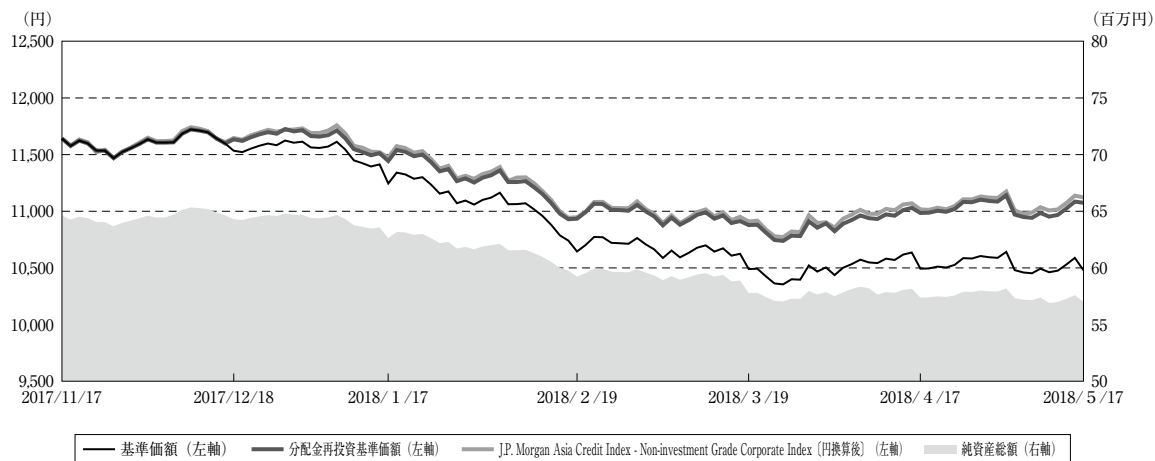
第72期首：8,457円

第77期末：7,843円（既払分配金（税引前）：300円）

騰落率：△3.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2017年11月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【為替ヘッジなし】



第72期首：11,642円

第77期末：10,479円（既払分配金（税引前）：600円）

騰落率：△4.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2017年11月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

<アジア高利回り社債オープン（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

当ファンドの主要投資対象である「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・投資対象とした「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）」（マザーファンド）において、保有債券からの利息収入がプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・投資対象としたマザーファンドにおいて、保有債券の利回りが上昇し、債券価格が下落したことがマイナスに作用しました。

<アジア高利回り社債オープン（毎月決算型）（為替ヘッジなし）>

当ファンドの主要投資対象である「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・投資対象とした「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）」（マザーファンド）において、保有債券からの利息収入がプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・投資対象としたマザーファンドにおいて、保有債券の利回りが上昇し、債券価格が下落したことがマイナスに作用しました。
- ・米ドルの対円での下落がマイナスに作用しました。

投資環境

（2017年11月18日～2018年5月17日）

アジア・ハイ・イールド債券市場は、作成期を通じて下落しました。米国と中国の通商問題に対する懸念の高まりや米国の長期金利上昇の影響を受けて、軟調な動きとなりました。ただ、作成期末にかけては、アジア域内の株価が底堅く推移したこともあり、投資家のリスク警戒感が和らぐ中、アジア・ハイ・イールド債券市場が下げ幅を縮小する場面も見られました。

為替市場は、作成期を通じて米ドルが対円で下落しました。2018年3月にかけては、米国の保護貿易主義への懸念等を受けて、米ドルの対円での売り圧力が強まる展開となりました。しかし、その後は主要国の堅調な株価動向を背景に買い戻しが入り、米ドルが対円で下げ幅を縮小しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2017年11月18日～2018年5月17日）

<アジア高利回り社債オープン（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」の組入比率を高位に維持するとともに、「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の組入れを継続しました。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象として運用を行いました。

<アジア高利回り社債オープン（毎月決算型）（為替ヘッジなし）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」の組入比率を高位に維持するとともに、「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の組入れを継続しました。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

前述をご参照ください。

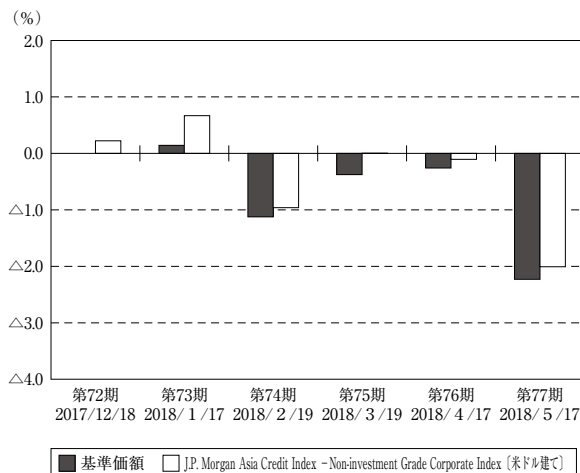
当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年11月18日～2018年5月17日）

【為替ヘッジあり】

当作成期間における分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数である「J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index〔米ドル建て〕」を1.6%下回りました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



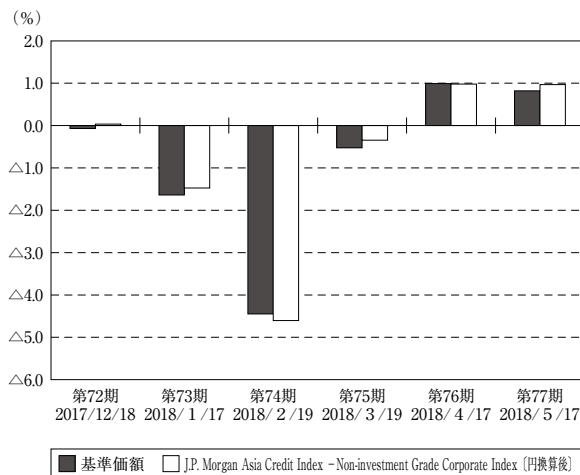
(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index〔米ドル建て〕です。

【為替ヘッジなし】

当作成期間における分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数である「J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index〔円換算後〕」を0.4%下回りました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index〔円換算後〕です。

分配金

（2017年11月18日～2018年5月17日）

<アジア高利回り社債オープン（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間は各決算期に1万口当たり50円（税引前）、合計300円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2017年11月18日～ 2017年12月18日	2017年12月19日～ 2018年1月17日	2018年1月18日～ 2018年2月19日	2018年2月20日～ 2018年3月19日	2018年3月20日～ 2018年4月17日	2018年4月18日～ 2018年5月17日
当期分配金	50	50	50	50	50	50
（対基準価額比率）	0.591%	0.594%	0.604%	0.610%	0.616%	0.633%
当期の収益	30	29	27	29	34	33
当期の収益以外	19	20	22	20	15	16
翌期繰越分配対象額	194	173	150	130	114	98

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<アジア高利回り社債オープン（毎月決算型）（為替ヘッジなし）>

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間は各決算期に1万口当たり100円（税引前）、合計600円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2017年11月18日～ 2017年12月18日	2017年12月19日～ 2018年1月17日	2018年1月18日～ 2018年2月19日	2018年2月20日～ 2018年3月19日	2018年3月20日～ 2018年4月17日	2018年4月18日～ 2018年5月17日
当期分配金	100	100	100	100	100	100
（対基準価額比率）	0.860%	0.881%	0.931%	0.944%	0.944%	0.945%
当期の収益	42	38	38	39	48	47
当期の収益以外	57	61	61	60	51	52
翌期繰越分配対象額	3,623	3,561	3,499	3,439	3,387	3,334

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<アジア高利回り社債オープン（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」につきましては、組入比率を高位に保つことを基本とします。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象として運用を行います。また、資産の組入れにあたっては、取得時において信用格付業者等から第2位（A-2格相当）以上の格付を得ており、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。

<アジア高利回り社債オープン（毎月決算型）（為替ヘッジなし）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」につきましては、組入比率を高位に保つことを基本とします。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

前述をご参照ください。

【為替ヘッジあり】

○1万口当たりの費用明細

(2017年11月18日～2018年5月17日)

項 目	第72期～第77期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	46 (18) (27) (1)	0.552 (0.214) (0.321) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.006 (0.006) (0.000)	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	47	0.558	
作成期間中の平均基準価額は、8,252円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年11月18日～2018年5月17日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

投資信託証券

銘 柄	第 72 期 ～ 第 77 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	口	千円	口	千円
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	3,431,494	3,050	24,020,391	21,100

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2017年11月18日～2018年5月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2018年5月17日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第 71 期 末	第 77 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		口	口	千円	%
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）		90,076,518	69,487,621	58,876	95.5
合 計		90,076,518	69,487,621	58,876	95.5

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘	柄	第 71 期 末	第 77 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・リクイディティ・マザーファンド		1,500	1,500	1,504

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2018年5月17日現在）

項 目	第 77 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 58,876	% 94.8
マ ネ ー ・ リ ク イ デ ィ テ ィ ・ マ ザ ー フ ェ ン ド	1,504	2.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,693	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	62,073	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末
	2017年12月18日現在	2018年1月17日現在	2018年2月19日現在	2018年3月19日現在	2018年4月17日現在	2018年5月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	85,966,195	85,167,545	83,730,649	72,248,114	68,372,664	62,073,689
コール・ローン等	2,887,152	3,260,919	3,250,598	2,218,145	2,007,860	1,692,487
投資信託受益証券（評価額）	81,574,402	80,401,985	78,975,560	68,525,478	64,860,463	58,876,861
マネー・リクイディティ・マザーファンド（評価額）	1,504,641	1,504,641	1,504,491	1,504,491	1,504,341	1,504,341
(B) 負債	589,877	584,260	591,144	504,333	481,929	452,623
未払収益分配金	507,767	505,340	505,413	440,492	420,457	392,820
未払解約金	—	—	98	—	—	—
未払信託報酬	81,169	78,010	84,654	63,112	60,765	59,120
未払利息	4	5	3	3	3	2
その他未払費用	937	905	976	726	704	681
(C) 純資産総額（A－B）	85,376,318	84,583,285	83,139,505	71,743,781	67,890,735	61,621,066
元本	101,553,512	101,068,033	101,082,709	88,098,574	84,091,500	78,564,052
次期繰越損益金	△ 16,177,194	△ 16,484,748	△ 17,943,204	△16,354,793	△16,200,765	△16,942,986
(D) 受益権総口数	101,553,512口	101,068,033口	101,082,709口	88,098,574口	84,091,500口	78,564,052口
1万口当たり基準価額（C/D）	8,407円	8,369円	8,225円	8,144円	8,073円	7,843円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第72期16,177,194円、第73期16,484,748円、第74期17,943,204円、第75期16,354,793円、第76期16,200,765円、第77期16,942,986円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第72期0.8407円、第73期0.8369円、第74期0.8225円、第75期0.8144円、第76期0.8073円、第77期0.7843円です。

(注) 当ファンドの第72期首元本額は101,527,619円、第72～77期中追加設定元本額は107,155円、第72～77期中一部解約元本額は23,070,722円です。

○損益の状況

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2017年11月18日～ 2017年12月18日	2017年12月19日～ 2018年1月17日	2018年1月18日～ 2018年2月19日	2018年2月20日～ 2018年3月19日	2018年3月20日～ 2018年4月17日	2018年4月18日～ 2018年5月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	390,545	370,755	361,563	323,846	347,616	320,674
受取配当金	390,657	370,844	361,641	323,908	347,680	320,733
受取利息	—	—	—	—	2	—
支払利息	△ 112	△ 89	△ 78	△ 62	△ 66	△ 59
(B) 有価証券売買損益	△ 309,728	△ 171,384	△ 1,226,574	△ 535,826	△ 455,567	△ 1,675,147
売買益	3	1,026	1	21,889	2,978	48,719
売買損	△ 309,731	△ 172,410	△ 1,226,575	△ 557,715	△ 458,545	△ 1,723,866
(C) 信託報酬等	△ 82,106	△ 78,916	△ 85,633	△ 63,841	△ 61,469	△ 59,801
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,289	120,455	△ 950,644	△ 275,821	△ 169,420	△ 1,414,274
(E) 前期繰越損益金	△ 8,647,585	△ 8,914,648	△ 9,087,408	△ 8,989,045	△ 9,091,195	△ 8,918,817
(F) 追加信託差損益金	△ 7,020,553	△ 7,185,215	△ 7,399,739	△ 6,649,435	△ 6,519,693	△ 6,217,075
(配当等相当額)	(2,171,665)	(1,964,337)	(1,752,478)	(1,328,651)	(1,097,180)	(900,827)
(売買損益相当額)	(△ 9,192,218)	(△ 9,149,552)	(△ 9,152,217)	(△ 7,978,086)	(△ 7,616,873)	(△ 7,117,902)
(G) 計(D+E+F)	△15,669,427	△15,979,408	△17,437,791	△15,914,301	△15,780,308	△16,550,166
(H) 収益分配金	△ 507,767	△ 505,340	△ 505,413	△ 440,492	△ 420,457	△ 392,820
次期繰越損益金(G+H)	△16,177,194	△16,484,748	△17,943,204	△16,354,793	△16,200,765	△16,942,986
追加信託差損益金	△ 7,218,444	△ 7,397,329	△ 7,627,758	△ 6,828,625	△ 6,652,666	△ 6,347,686
(配当等相当額)	(1,973,774)	(1,752,223)	(1,524,459)	(1,149,461)	(964,207)	(770,216)
(売買損益相当額)	(△ 9,192,218)	(△ 9,149,552)	(△ 9,152,217)	(△ 7,978,086)	(△ 7,616,873)	(△ 7,117,902)
繰越損益金	△ 8,958,750	△ 9,087,419	△10,315,446	△ 9,526,168	△ 9,548,099	△10,595,300

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 配当等収益(費用控除後)	309,876円	293,226円	277,394円	261,302円	287,484円	262,209円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	2,171,665円	1,964,337円	1,752,478円	1,328,651円	1,097,180円	900,827円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	0円	0円	0円	0円	0円	0円
分配対象収益(a+b+c+d)	2,481,541円	2,257,563円	2,029,872円	1,589,953円	1,384,664円	1,163,036円
分配対象収益(1万口当たり)	244円	223円	200円	180円	164円	148円
分配金額	507,767円	505,340円	505,413円	440,492円	420,457円	392,820円
分配金額(1万口当たり)	50円	50円	50円	50円	50円	50円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
1万口当たり分配金（税引前）	50円	50円	50円	50円	50円	50円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

【為替ヘッジなし】

○1万口当たりの費用明細

（2017年11月18日～2018年5月17日）

項 目	第72期～第77期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 61 (24) (35) (2)	% 0.552 (0.214) (0.321) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.006 (0.006) (0.000)	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	62	0.558	
作成期間中の平均基準価額は、11,000円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2017年11月18日～2018年5月17日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

投資信託証券

銘 柄	第 72 期 ～ 第 77 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国 内 アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	口 1,762,010	千円 2,250	口 3,769,955	千円 4,700

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2017年11月18日～2018年5月17日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2018年5月17日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第 71 期 末	第 77 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		口	口	千円	%
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）		45,997,660	43,989,715	54,344	95.4
合 計		45,997,660	43,989,715	54,344	95.4

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘	柄	第 71 期 末	第 77 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・リクイディティ・マザーファンド		1,001	1,001	1,003

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2018年5月17日現在）

項 目	第 77 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 54,344	% 94.4
マ ネ ー ・ リ ク イ デ ィ テ ィ ・ マ ザ ー フ ェ ン ド	1,003	1.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,244	3.9
投 資 信 託 財 産 総 額	57,591	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末
	2017年12月18日現在	2018年1月17日現在	2018年2月19日現在	2018年3月19日現在	2018年4月17日現在	2018年5月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	64,912,792	63,252,356	59,847,293	58,975,078	57,983,760	57,591,653
コール・ローン等	2,891,633	2,794,621	2,137,632	2,291,651	2,066,324	2,242,767
投資信託受益証券（評価額）	61,016,966	59,453,542	56,705,568	55,479,334	54,913,443	54,344,893
マネー・リクイディティ・マザーファンド（評価額）	1,004,193	1,004,193	1,004,093	1,004,093	1,003,993	1,003,993
未収入金	—	—	—	200,000	—	—
(B) 負債	619,093	616,465	619,337	1,196,894	598,504	597,180
未払収益分配金	557,423	556,994	556,407	550,849	546,879	543,912
未払解約金	—	—	93	594,797	—	—
未払信託報酬	60,967	58,795	62,122	50,658	51,034	52,659
未払利息	4	4	2	3	3	3
その他未払費用	699	672	713	587	588	606
(C) 純資産総額（A－B）	64,293,699	62,635,891	59,227,956	57,778,184	57,385,256	56,994,473
元本	55,742,336	55,699,487	55,640,755	55,084,998	54,687,913	54,391,230
次期繰越損益金	8,551,363	6,936,404	3,587,201	2,693,186	2,697,343	2,603,243
(D) 受益権総口数	55,742,336口	55,699,487口	55,640,755口	55,084,998口	54,687,913口	54,391,230口
1万口当たり基準価額（C/D）	11,534円	11,245円	10,645円	10,489円	10,493円	10,479円

（注）計算期間末における1口当たりの純資産額は、第72期1.1534円、第73期1.1245円、第74期1.0645円、第75期1.0489円、第76期1.0493円、第77期1.0479円です。

（注）当ファンドの第72期首元本額は55,512,181円、第72～77期中追加設定元本額は403,457円、第72～77期中一部解約元本額は1,524,408円です。

○損益の状況

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2017年11月18日～ 2017年12月18日	2017年12月19日～ 2018年1月17日	2018年1月18日～ 2018年2月19日	2018年2月20日～ 2018年3月19日	2018年3月20日～ 2018年4月17日	2018年4月18日～ 2018年5月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	296,693	271,751	273,422	267,743	288,405	284,911
受取配当金	296,789	271,835	273,480	267,788	288,469	284,986
受取利息	—	—	—	—	2	—
支払利息	△ 96	△ 84	△ 58	△ 45	△ 66	△ 75
(B) 有価証券売買損益	△ 279,515	△ 1,263,678	△ 2,996,434	△ 523,845	333,552	232,798
売買益	478	—	1,337	2,327	334,088	238,891
売買損	△ 279,993	△ 1,263,678	△ 2,997,771	△ 526,172	△ 536	△ 6,093
(C) 信託報酬等	△ 61,666	△ 59,468	△ 62,838	△ 51,246	△ 51,622	△ 53,265
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 44,488	△ 1,051,395	△ 2,785,850	△ 307,348	570,335	464,444
(E) 前期繰越損益金	△ 6,080,201	△ 6,354,477	△ 7,604,256	△ 10,494,669	△ 10,919,535	△ 10,556,263
(F) 追加信託差損益金	15,233,475	14,899,270	14,533,714	14,046,052	13,593,422	13,238,974
(配当等相当額)	(20,519,813)	(20,182,850)	(19,818,146)	(19,278,803)	(18,808,734)	(18,426,632)
(売買損益相当額)	(△ 5,286,338)	(△ 5,283,580)	(△ 5,284,432)	(△ 5,232,751)	(△ 5,215,312)	(△ 5,187,658)
(G) 計(D+E+F)	9,108,786	7,493,398	4,143,608	3,244,035	3,244,222	3,147,155
(H) 収益分配金	△ 557,423	△ 556,994	△ 556,407	△ 550,849	△ 546,879	△ 543,912
次期繰越損益金(G+H)	8,551,363	6,936,404	3,587,201	2,693,186	2,697,343	2,603,243
追加信託差損益金	14,912,036	14,555,486	14,188,865	13,712,560	13,311,830	12,951,484
(配当等相当額)	(20,198,375)	(19,839,066)	(19,473,297)	(18,945,311)	(18,527,142)	(18,139,142)
(売買損益相当額)	(△ 5,286,339)	(△ 5,283,580)	(△ 5,284,432)	(△ 5,232,751)	(△ 5,215,312)	(△ 5,187,658)
繰越損益金	△ 6,360,673	△ 7,619,082	△ 10,601,664	△ 11,019,374	△ 10,614,487	△ 10,348,241

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 配当等収益(費用控除後)	235,984円	213,210円	211,558円	217,357円	265,287円	256,422円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	20,519,814円	20,182,850円	19,818,146円	19,278,803円	18,808,734円	18,426,632円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	0円	0円	0円	0円	0円	0円
分配対象収益(a+b+c+d)	20,755,798円	20,396,060円	20,029,704円	19,496,160円	19,074,021円	18,683,054円
分配対象収益(1万口当たり)	3,723円	3,661円	3,599円	3,539円	3,487円	3,434円
分配金額	557,423円	556,994円	556,407円	550,849円	546,879円	543,912円
分配金額(1万口当たり)	100円	100円	100円	100円	100円	100円

○分配金のお知らせ

	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
1万口当たり分配金（税引前）	100円	100円	100円	100円	100円	100円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2018年5月17日現在）

<マネー・リクイディティ・マザーファンド>

下記は、マネー・リクイディティ・マザーファンド全体（156,437千円）の内容です。

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	第 77 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	150,000 (150,000)	150,482 (150,482)	95.9 (95.9)	— (—)	— (—)	— (—)	95.9 (95.9)
合 計	150,000 (150,000)	150,482 (150,482)	95.9 (95.9)	— (—)	— (—)	— (—)	95.9 (95.9)

(注) () 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	第 77 期			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特殊債券（除く金融債）	%	千円	千円	
第3回政府保証原子力損害賠償支援機構債	0.117	50,000	50,001	2018/5/23
第60回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.8	50,000	50,108	2018/6/29
第67回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.6	50,000	50,372	2018/10/31
合 計		150,000	150,482	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 運用報告書(全体版)

第72期(決算日:2017年12月11日) 第75期(決算日:2018年3月9日)
第73期(決算日:2018年1月9日) 第76期(決算日:2018年4月9日)
第74期(決算日:2018年2月9日) 第77期(決算日:2018年5月9日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」は、去る5月9日に第77期の決算を行いました。
当ファンドはアジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じ、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アジア諸国 ^{※1} の高利回り社債 ^{※2} および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。 <small>※1アジア諸国とは、運用委託先がそれに該当すると判断する国(日本を除きます。)をいいます。 ※2高利回り社債とは、当該社債の格付けが、BB+格(S&P社による格付け)またはBa1格(ムーディーズ社による格付け)以下のものをいいます。</small>
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。外貨建資産については、為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクを抑えます。株式への実質投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象として運用を行います。米ドル建ての債券に主として投資します。また、建値がアジア諸国の現地通貨である債券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%を上限とします。株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日(原則毎月9日)に基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(注)当報告書における比率は、表示相米四捨五入です。

(注)「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント

ホームページアドレス <http://www.jpmorganasset.co.jp/>

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比率	債券先物比率	純資産額
		税分	込配	み金 期騰落 中率			
	円		円	%	%	%	百万円
48期(2015年12月9日)	9,229		49	△0.7	85.6	—	2,051
49期(2016年1月12日)	9,151		51	△0.3	78.2	—	1,999
50期(2016年2月9日)	9,087		41	△0.3	81.9	—	1,966
51期(2016年3月9日)	9,124		45	0.9	85.3	—	1,879
52期(2016年4月11日)	9,206		51	1.5	85.6	—	1,864
53期(2016年5月9日)	9,189		48	0.3	89.5	—	1,841
54期(2016年6月9日)	9,252		49	1.2	89.9	—	1,844
55期(2016年7月11日)	9,313		47	1.2	87.0	—	1,856
56期(2016年8月9日)	9,370		46	1.1	94.4	—	1,909
57期(2016年9月9日)	9,365		48	0.5	93.3	—	1,972
58期(2016年10月11日)	9,328		48	0.1	99.2	—	2,048
59期(2016年11月9日)	9,253		46	△0.3	93.9	—	2,071
60期(2016年12月9日)	9,121		49	△0.9	102.1	—	2,057
61期(2017年1月10日)	9,133		51	0.7	96.6	—	2,068
62期(2017年2月9日)	9,166		43	0.8	91.5	—	2,018
63期(2017年3月9日)	9,156		42	0.3	98.4	—	2,002
64期(2017年4月10日)	9,170		46	0.7	93.5	—	1,981
65期(2017年5月9日)	9,174		44	0.5	96.9	—	1,993
66期(2017年6月9日)	9,158		46	0.3	94.8	—	2,091
67期(2017年7月10日)	9,074		45	△0.4	95.6	—	2,150
68期(2017年8月9日)	9,090		40	0.6	89.0	—	2,217
69期(2017年9月11日)	9,100		47	0.6	93.0	—	2,180
70期(2017年10月10日)	9,107		42	0.5	102.0	—	2,170
71期(2017年11月9日)	9,091		42	0.3	97.0	—	2,153
72期(2017年12月11日)	9,000		43	△0.5	95.8	—	2,050
73期(2018年1月9日)	8,978		41	0.2	96.2	—	1,994
74期(2018年2月9日)	8,868		40	△0.8	96.4	—	1,863
75期(2018年3月9日)	8,790		41	△0.4	91.3	—	1,822
76期(2018年4月9日)	8,694		46	△0.6	97.4	—	1,800
77期(2018年5月9日)	8,444		46	△2.3	98.2	—	1,672

(注)基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注)債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			円	%		
第72期	(期 首) 2017年11月9日	9,091	—	—	97.0	—
	11月末	9,038	△0.6	—	96.1	—
	(期 末) 2017年12月11日	9,043	△0.5	—	95.8	—
第73期	(期 首) 2017年12月11日	9,000	—	—	95.8	—
	12月末	8,999	△0.0	—	96.0	—
	(期 末) 2018年1月9日	9,019	0.2	—	96.2	—
第74期	(期 首) 2018年1月9日	8,978	—	—	96.2	—
	1月末	8,952	△0.3	—	92.1	—
	(期 末) 2018年2月9日	8,908	△0.8	—	96.4	—
第75期	(期 首) 2018年2月9日	8,868	—	—	96.4	—
	2月末	8,861	△0.1	—	91.7	—
	(期 末) 2018年3月9日	8,831	△0.4	—	91.3	—
第76期	(期 首) 2018年3月9日	8,790	—	—	91.3	—
	3月末	8,723	△0.8	—	96.9	—
	(期 末) 2018年4月9日	8,740	△0.6	—	97.4	—
第77期	(期 首) 2018年4月9日	8,694	—	—	97.4	—
	4月末	8,615	△0.9	—	99.6	—
	(期 末) 2018年5月9日	8,490	△2.3	—	98.2	—

(注) 期末基準価額は当該期の分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

投資環境

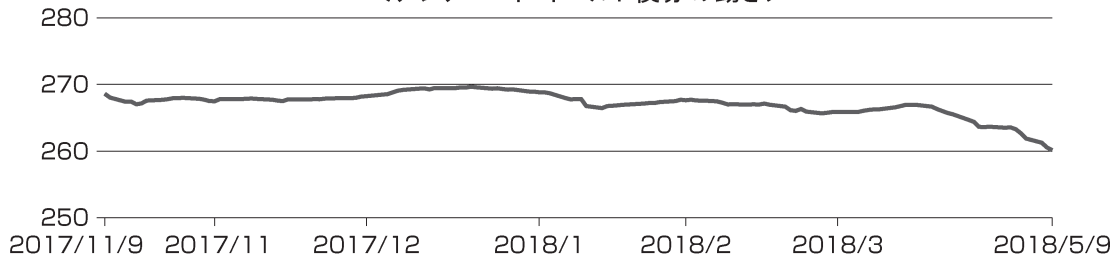
◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は下落しました。

- ◆作成期首から2018年1月中旬にかけては、米税制改革の実現への期待やFRB(米連邦準備制度理事会)が市場の予想通りに利上げを実施し底堅い米経済が確認されたことなどが注目された中、アジア・ハイ・イールド債券市場は概ね堅調に推移しました。
- ◆1月下旬以降は、北朝鮮情勢や米中貿易摩擦を巡る動きに加え、原油高などを背景にインフレ圧力が高まるとの見方から米長期金利が上昇したことなどに左右され、アジア・ハイ・イールド債券市場は下落基調で推移しました。

* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate (米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

<アジア・ハイ・イールド債券の動き>



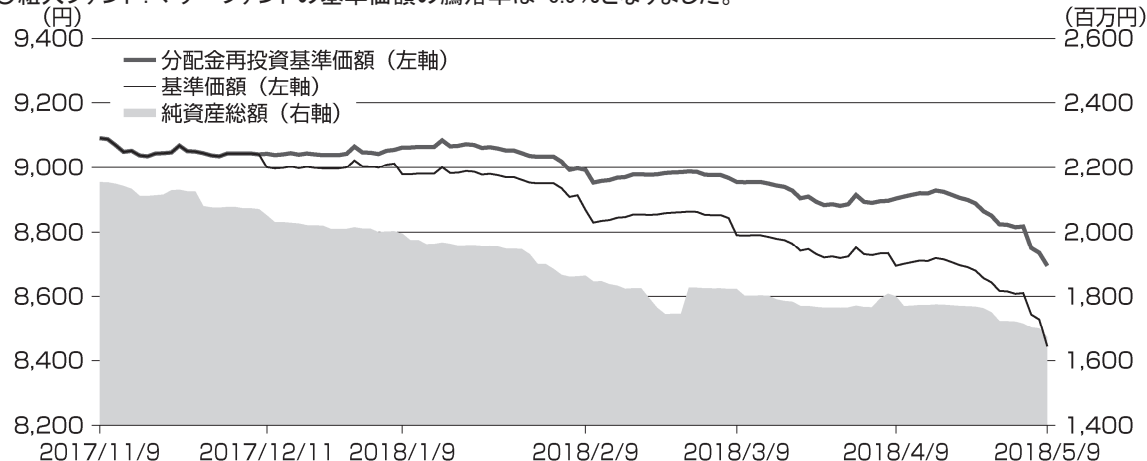
(出所)ブルームバーグ

・J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate (米ドルベース)

運用経過の説明

◎基準価額等の推移

- 当ファンド: 基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は-4.4%となりました。
- 組入ファンド: マザーファンドの基準価額の騰落率は-6.9%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同)。

(注) 分配金再投資基準価額はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、保有債券の価格下落や米ドルが対円で下落したことがマイナスに寄与し、基準価額を押し下げました。当ファンドにおいては、為替市場で米ドルが対円で下落したことから為替ヘッジはプラスに寄与しました。

◎ポートフォリオについて

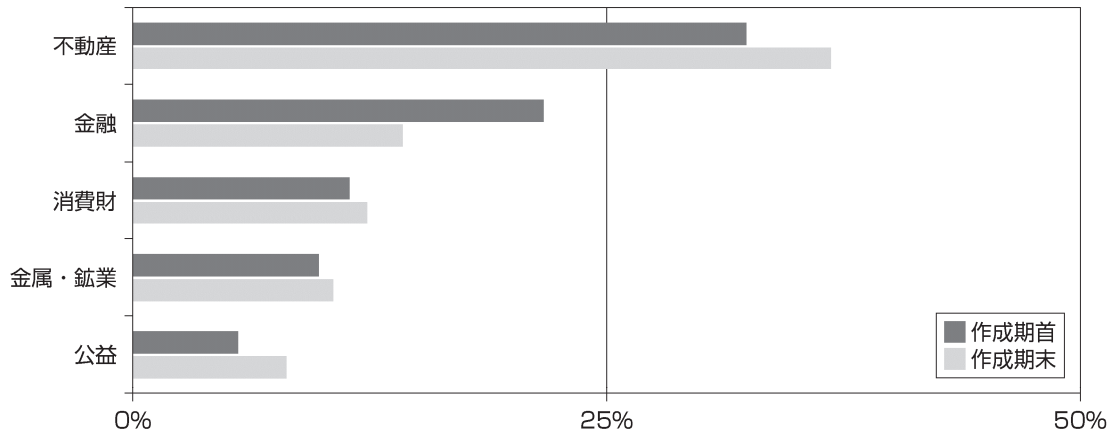
○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

○マザーファンド

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。作成期を通じて、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。

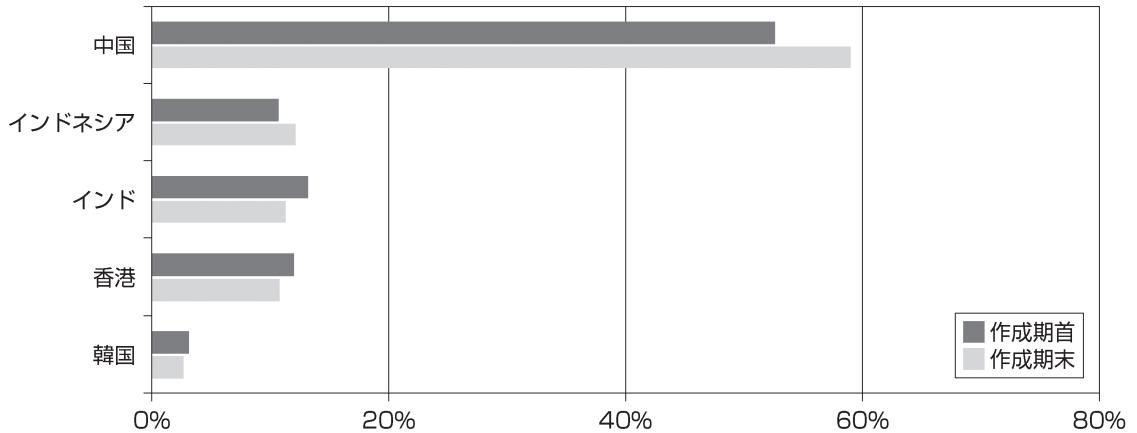
<上位業種別比率の推移(マザーファンド)>



・組入有益証券を100%として計算しています。

・業種別比率はJ.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) の分類に基づいていますが、当社の判断により分類したものが一部含まれます。

<上位国別比率の推移(マザーファンド)>



・組入有価証券を100%として計算しています。

◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たりの分配金は当作成期合計で257円(税込)としました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆世界的に経済成長が継続していることなどから、世界の経済成長率は3.5%以上になると予想しています。
- ◆インフレ圧力の高まりやトランプ米政権による財政支出の拡大のほか、中国の景気動向などには留意が必要と考えます。
- ◆当社グループでは、予想を超えるインフレ率の上昇や日銀によるイールドカーブ・コントロール(長短金利操作)の終了などがなければ、FRB(米連邦準備制度理事会)は2018年に4回の利上げを行うと見えています。

◎今後の運用方針

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○マザーファンド

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2017年11月10日～2018年5月9日)

項 目	第72期～第77期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 30	% 0.343	(a) 信託報酬 = [当作成期中の平均基準価額] × 信託報酬率
(投 信 会 社)	(28)	(0.321)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(販 売 会 社)	(0)	(0.005)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.017	(b) その他費用 = $\frac{[当作成期中のその他費用]}{[当作成期中の平均受益権口数]}$
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	31	0.360	
当作成期中の平均基準価額は、8,864円です。			

(注) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2017年11月10日～2018年5月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第72期～第77期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券	千口 134,034	千円 290,371	千口 284,717	千円 626,448

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2017年11月10日～2018年5月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2017年11月10日～2018年5月9日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年11月10日～2018年5月9日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年5月9日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第71期末		第77期末		評 価 額
		口	数	口	数	
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券			千口		千口	千円
			955, 118		804, 435	1, 719, 802

(注)口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

○投資信託財産の構成

(2018年5月9日現在)

項	目	第77期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券		1, 719, 802	99. 4
コール・ローン等、その他		11, 129	0. 6
投資信託財産総額		1, 730, 931	100. 0

(注)評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注)アジア・ハイ・イールド債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(32,201,943千円)の投資信託財産総額(32,518,125千円)に対する比率は99.0%です。

(注)外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=109.31円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末
	2017年12月11日現在	2018年1月9日現在	2018年2月9日現在	2018年3月9日現在	2018年4月9日現在	2018年5月9日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	4,133,176,510	4,067,265,448	3,855,442,915	7,497,386,078	3,823,104,472	3,685,428,837
アジア・ハイ・イールド債券マ ザーファンド受益証券(評価額)	2,060,729,449	2,019,062,821	1,856,285,974	1,782,712,366	1,827,922,034	1,719,802,084
未収入金	2,072,447,061	2,048,202,627	1,999,156,941	5,714,673,712	1,995,182,438	1,965,626,753
(B) 負債	2,082,289,853	2,072,305,979	1,991,715,542	5,674,894,908	2,023,033,842	2,012,825,166
未払金	2,059,172,620	2,062,055,868	1,982,134,804	5,665,400,029	2,012,428,689	1,992,689,290
未払収益分配金	9,799,189	9,110,149	8,406,689	8,501,170	9,523,981	9,111,891
未払解約金	11,999,999	—	—	—	—	10,000,000
未払信託報酬	1,278,114	1,105,426	1,138,483	963,608	1,048,421	992,963
その他未払費用	39,931	34,536	35,566	30,101	32,751	31,022
(C) 純資産総額(A-B)	2,050,886,657	1,994,959,469	1,863,727,373	1,822,491,170	1,800,070,630	1,672,603,671
元本	2,278,881,164	2,221,987,776	2,101,672,450	2,073,456,297	2,070,430,787	1,980,846,051
次期繰越損益金	△ 227,994,507	△ 227,028,307	△ 237,945,077	△ 250,965,127	△ 270,360,157	△ 308,242,380
(D) 受益権総口数	2,278,881,164口	2,221,987,776口	2,101,672,450口	2,073,456,297口	2,070,430,787口	1,980,846,051口
1万円当たり基準価額(C/D)	9,000円	8,978円	8,868円	8,790円	8,694円	8,444円

<注記事項>

期首元本額	2,368,714,158円	2,278,881,164円	2,221,987,776円	2,101,672,450円	2,073,456,297円	2,070,430,787円
期中追加設定元本額	16,252,319円	0円	14,685,024円	102,722,482円	47,419,912円	2,587,003円
期中一部解約元本額	106,085,313円	56,893,388円	135,000,350円	130,938,635円	50,445,422円	92,171,739円
各期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。						
未払受益者報酬	59,911円	51,818円	53,367円	45,170円	49,142円	46,546円
未払委託者報酬	1,218,203円	1,053,608円	1,085,116円	918,438円	999,279円	946,417円

○損益の状況

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2017年11月10日～ 2017年12月11日	2017年12月12日～ 2018年1月9日	2018年1月10日～ 2018年2月9日	2018年2月10日～ 2018年3月9日	2018年3月10日～ 2018年4月9日	2018年4月10日～ 2018年5月9日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 9,686,860	5,524,255	△ 13,544,386	△ 6,627,195	△ 8,875,926	△ 39,445,043
売買益	64,465,022	23,108,476	73,781,267	45,474,150	65,500,004	27,852,195
売買損	△ 74,151,882	△ 17,584,221	△ 87,325,649	△ 52,101,345	△ 74,375,930	△ 67,297,238
(B) 信託報酬等	△ 1,318,045	△ 1,139,962	△ 1,174,049	△ 993,709	△ 1,081,172	△ 1,023,985
(C) 当期損益金(A+B)	△ 11,004,905	4,384,293	△ 14,718,431	△ 7,620,904	△ 9,957,098	△ 40,469,028
(D) 前期繰越損益金	△171,736,823	△186,485,231	△178,272,198	△187,939,341	△197,544,543	△206,069,994
(E) 追加信託差損益金	△ 35,453,590	△ 35,817,220	△ 36,547,759	△ 46,903,712	△ 53,334,535	△ 52,591,467
(配当等相当額)	(96,672,773)	(93,055,040)	(86,679,715)	(84,578,718)	(82,990,527)	(78,164,019)
(売買損益相当額)	(△132,126,363)	(△128,872,260)	(△123,227,474)	(△131,482,430)	(△136,325,062)	(△130,755,486)
(F) 計(C+D+E)	△218,195,318	△217,918,158	△229,538,388	△242,463,957	△260,836,176	△299,130,489
(G) 収益分配金	△ 9,799,189	△ 9,110,149	△ 8,406,689	△ 8,501,170	△ 9,523,981	△ 9,111,891
次期繰越損益金(F+G)	△227,994,507	△227,028,307	△237,945,077	△250,965,127	△270,360,157	△308,242,380
追加信託差損益金	△ 36,734,322	△ 37,230,404	△ 37,518,731	△ 48,496,126	△ 54,696,878	△ 53,744,319
(配当等相当額)	(95,437,713)	(91,641,856)	(85,729,650)	(83,111,817)	(81,698,956)	(77,018,242)
(売買損益相当額)	(△132,172,035)	(△128,872,260)	(△123,248,381)	(△131,607,943)	(△136,395,834)	(△130,762,561)
分配準備積立金	2,243	2,328	4,248	3,434	2,939	2,374
繰越損益金	△191,262,428	△189,800,231	△200,430,594	△202,472,435	△215,666,218	△254,500,435

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第72期計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,516,636円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(96,718,445円)および分配準備積立金(4,064円)より分配対象収益は105,239,145円(10,000口当たり461円)であり、うち9,799,189円(10,000口当たり43円)を分配金額としております。

(注) 第73期計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,697,109円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(93,055,040円)および分配準備積立金(2,184円)より分配対象収益は100,754,333円(10,000口当たり453円)であり、うち9,110,149円(10,000口当たり41円)を分配金額としております。

(注) 第74期計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,437,780円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(86,700,622円)および分配準備積立金(2,185円)より分配対象収益は94,140,587円(10,000口当たり447円)であり、うち8,406,689円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

(注) 第75期計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,908,207円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(84,704,231円)および分配準備積立金(3,983円)より分配対象収益は91,616,421円(10,000口当たり441円)であり、うち8,501,170円(10,000口当たり41円)を分配金額としております。

(注) 第76期計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,161,226円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(83,061,299円)および分配準備積立金(3,351円)より分配対象収益は91,225,876円(10,000口当たり440円)であり、うち9,523,981円(10,000口当たり46円)を分配金額としております。

(注) 第77期計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,958,606円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(78,171,094円)および分配準備積立金(2,807円)より分配対象収益は86,132,507円(10,000口当たり434円)であり、うち9,111,891円(10,000口当たり46円)を分配金額としております。

(注) 各期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
受託者報酬	59,911円	51,818円	53,367円	45,170円	49,142円	46,546円
委託者報酬	1,218,203円	1,053,608円	1,085,116円	918,438円	999,279円	946,417円

○分配金のお知らせ

	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
1万口当たり分配金(税込み)	43円	41円	40円	41円	46円	46円

<約款変更のお知らせ>

・平成30年1月31日付けで、法令の改正に伴い、信用リスク集中回避のための投資制限にかかる管理の方法を記載するため、信託約款に所要の変更を行っています。

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 運用報告書(全体版)

第72期(決算日:2017年12月11日) 第75期(決算日:2018年3月9日)
第73期(決算日:2018年1月9日) 第76期(決算日:2018年4月9日)
第74期(決算日:2018年2月9日) 第77期(決算日:2018年5月9日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」は、去る5月9日に第77期の決算を行いました。
当ファンドはアジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。当作成期につきましてそれぞれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じ、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アジア諸国 ^{※1} の高利回り社債 ^{※2} および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。 <small>※1 アジア諸国とは、運用要件がそれぞれに該当すると判断する国(日本を除きます。)をいいます。 ※2 高利回り社債とは、当該社債の格付けが、BB+格(S&P社による格付け)またはBa1格(ムーディーズ社による格付け)以下のものをいいます。</small>
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。為替ヘッジは行いません。株式への実質投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象として運用を行います。米ドル建ての債券に主として投資します。また、建値がアジア諸国の現地通貨である債券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%を上限とします。株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日(原則毎月9日)に基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント

ホームページアドレス <http://www.jpmorganasset.co.jp/>

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比率	債券先物比率	純資産額
		税分	込配	み金 期騰落			
	円		円	中率 %	%	%	百万円
48期(2015年12月9日)	14,422		77	△ 0.9	85.5	—	28,836
49期(2016年1月12日)	13,712		80	△ 4.4	81.5	—	28,340
50期(2016年2月9日)	13,331		62	△ 2.3	83.9	—	26,067
51期(2016年3月9日)	13,067		66	△ 1.5	86.9	—	23,813
52期(2016年4月11日)	12,692		74	△ 2.3	89.1	—	22,245
53期(2016年5月9日)	12,608		66	△ 0.1	89.9	—	22,002
54期(2016年6月9日)	12,615		68	0.6	91.6	—	23,916
55期(2016年7月11日)	12,029		64	△ 4.1	91.7	—	23,475
56期(2016年8月9日)	12,281		60	2.6	93.1	—	23,707
57期(2016年9月9日)	12,277		63	0.5	93.3	—	24,122
58期(2016年10月11日)	12,433		63	1.8	97.0	—	24,639
59期(2016年11月9日)	12,142		61	△ 1.8	95.4	—	24,773
60期(2016年12月9日)	13,409		65	11.0	93.0	—	27,302
61期(2017年1月10日)	13,650		75	2.4	94.5	—	26,028
62期(2017年2月9日)	13,245		64	△ 2.5	94.9	—	24,785
63期(2017年3月9日)	13,547		61	2.7	96.0	—	25,518
64期(2017年4月10日)	13,212		68	△ 2.0	96.1	—	25,719
65期(2017年5月9日)	13,457		63	2.3	94.7	—	26,260
66期(2017年6月9日)	13,072		66	△ 2.4	95.7	—	26,215
67期(2017年7月10日)	13,449		64	3.4	91.8	—	29,234
68期(2017年8月9日)	13,000		58	△ 2.9	91.8	—	31,317
69期(2017年9月11日)	12,852		67	△ 0.6	94.6	—	32,428
70期(2017年10月10日)	13,388		59	4.6	97.3	—	34,824
71期(2017年11月9日)	13,532		62	1.5	95.7	—	36,620
72期(2017年12月11日)	13,368		64	△ 0.7	95.9	—	37,201
73期(2018年1月9日)	13,310		59	0.0	95.5	—	37,233
74期(2018年2月9日)	12,664		59	△ 4.4	97.3	—	34,438
75期(2018年3月9日)	12,329		58	△ 2.2	93.8	—	32,940
76期(2018年4月9日)	12,241		64	△ 0.2	96.4	—	31,686
77期(2018年5月9日)	12,194		64	0.1	96.0	—	30,247

(注)基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注)債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第72期	(期 首) 2017年11月9日	円 13,532	% —	% —	% 95.7	% —
	11月末	13,227	△2.3		97.6	—
	(期 末) 2017年12月11日	13,432	△0.7		95.9	—
第73期	(期 首) 2017年12月11日	13,368	—		95.9	—
	12月末	13,305	△0.5		95.6	—
	(期 末) 2018年1月9日	13,369	0.0		95.5	—
第74期	(期 首) 2018年1月9日	13,310	—		95.5	—
	1月末	12,768	△4.1		95.5	—
	(期 末) 2018年2月9日	12,723	△4.4		97.3	—
第75期	(期 首) 2018年2月9日	12,664	—		97.3	—
	2月末	12,487	△1.4		93.9	—
	(期 末) 2018年3月9日	12,387	△2.2		93.8	—
第76期	(期 首) 2018年3月9日	12,329	—		93.8	—
	3月末	12,203	△1.0		96.6	—
	(期 末) 2018年4月9日	12,305	△0.2		96.4	—
第77期	(期 首) 2018年4月9日	12,241	—		96.4	—
	4月末	12,427	1.5		97.6	—
	(期 末) 2018年5月9日	12,258	0.1		96.0	—

(注) 期末基準価額は当該期の分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

投資環境

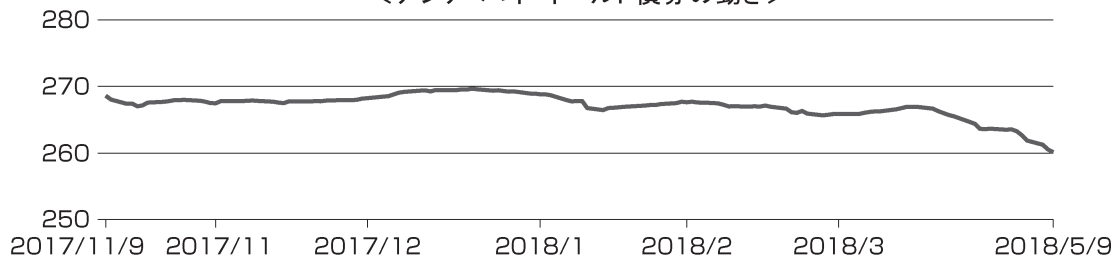
◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は下落しました。

- ◆作成期首から2018年1月中旬にかけては、米税制改革の実現への期待やFRB(米連邦準備制度理事会)が市場の予想通りに利上げを実施し底堅い米経済が確認されたことなどが注目された中、アジア・ハイ・イールド債券市場は概ね堅調に推移しました。
- ◆1月下旬以降は、北朝鮮情勢や米中貿易摩擦を巡る動きに加え、原油高などを背景にインフレ圧力が高まるとの見方から米長期金利が上昇したことなどに左右され、アジア・ハイ・イールド債券市場は下落基調で推移しました。

* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

＜アジア・ハイ・イールド債券の動き＞



(出所)ブルームバーグ

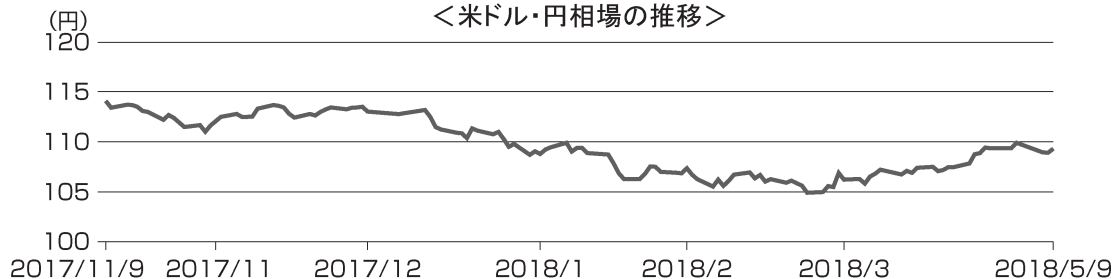
・J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)

◎為替市況

為替市場では、米ドルが対円で下落しました。

- ◆日銀による国債買入れオペ(公開市場操作)の減額を受けた量的緩和縮小観測から円高が進んだことに加え、米財政悪化への懸念などから投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景に、2018年3月にかけて米ドルは対円で下落しました。
- ◆その後は、米中貿易摩擦への懸念やシリア情勢など地政学的リスクの高まりなどがドルの重石となる場面も見られたものの、米長期金利の上昇や北朝鮮を巡る地政学リスクの後退などを背景に米ドルは対円で上昇しました。

＜米ドル・円相場の推移＞



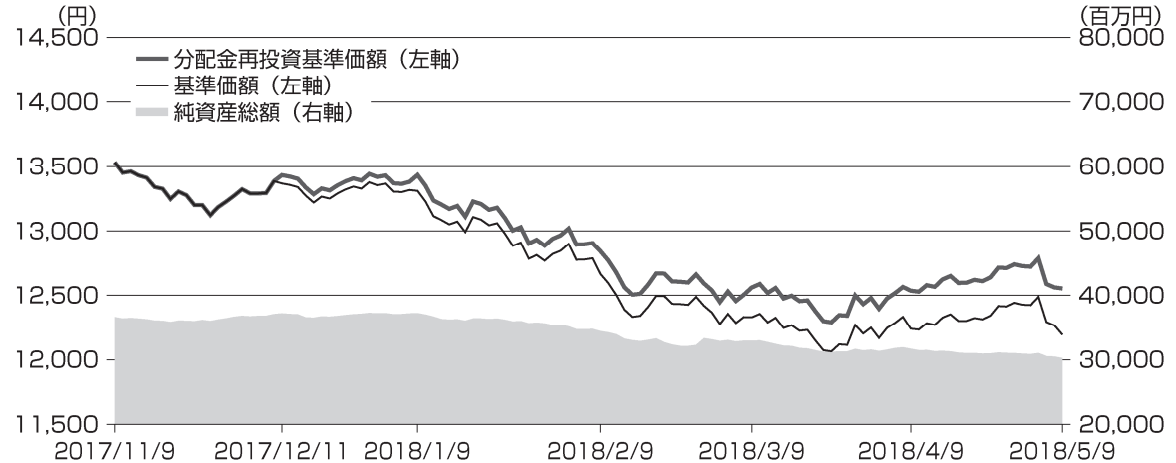
(出所)投信協会発表レート

運用経過の説明

◎基準価額等の推移

○当ファンド:基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は-7.2%となりました。

○組入ファンド:マザーファンドの基準価額の騰落率は-6.9%となりました。



(注)基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同じ)。

(注)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同じ)。

(注)分配金再投資基準価額はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、保有債券の価格下落や米ドルが対円で下落したことなどがマイナスに寄与し、基準価額を押し下げました。

◎ポートフォリオについて

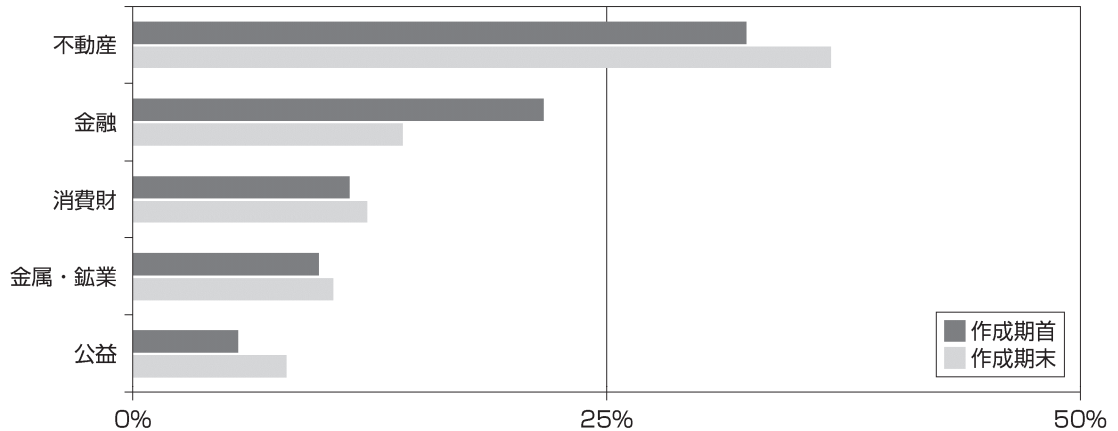
○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

○マザーファンド

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。作成期を通じて、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。

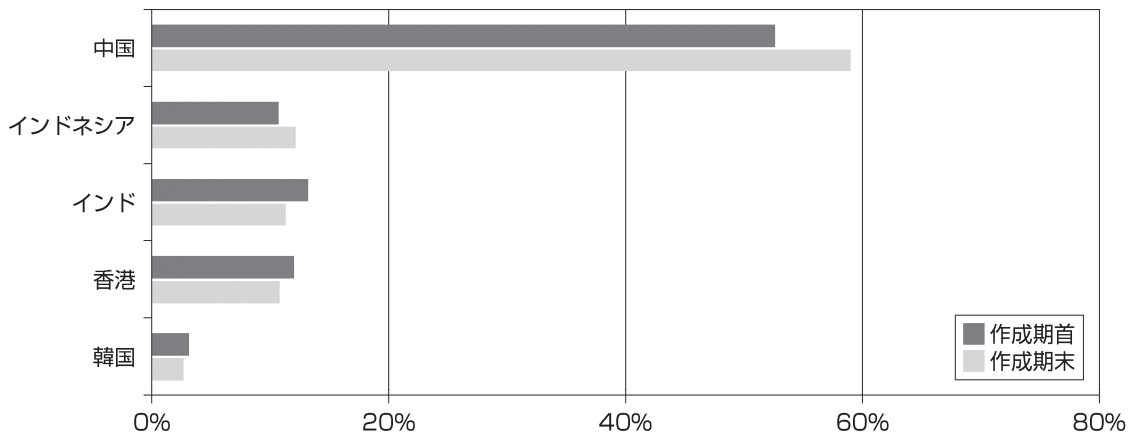
<上位業種別比率の推移(マザーファンド)>



・組入価証券を100%として計算しています。

・業種別比率はJ.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) の分類に基づいていますが、当社の判断により分類したものが一部含まれます。

<上位国別比率の推移(マザーファンド)>



・組入価証券を100%として計算しています。

◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たりの分配金は当作成期合計で368円(税込)としました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆世界的に経済成長が継続していることなどから、世界の経済成長率は3.5%以上になると予想しています。
- ◆インフレ圧力の高まりやトランプ米政権による財政支出の拡大のほか、中国の景気動向などには留意が必要と考えます。
- ◆当社グループでは、予想を超えるインフレ率の上昇や日銀によるイールドカーブ・コントロール(長短金利操作)の終了などがなければ、FRB(米連邦準備制度理事会)は2018年に4回の利上げを行うと見えています。

◎今後の運用方針

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○マザーファンド

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2017年11月10日～2018年5月9日)

項 目	第72期～第77期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 44	% 0.343	(a) 信託報酬 = [当作成期中の平均基準価額] × 信託報酬率
(投 信 会 社)	(41)	(0.321)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.005)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.011	(b) その他費用 = $\frac{[当作成期中のその他費用]}{[当作成期中の平均受益権口数]}$
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	45	0.354	
当作成期中の平均基準価額は、12,736円です。			

(注) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2017年11月10日～2018年5月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第72期～第77期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券	千口 1,484,109	千円 3,279,050	千口 3,279,226	千円 7,127,552

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2017年11月10日～2018年5月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2017年11月10日～2018年5月9日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年11月10日～2018年5月9日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年5月9日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第71期末		第77期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券			16,025,985		14,230,868	30,424,173

(注)口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

○投資信託財産の構成

(2018年5月9日現在)

項	目	第77期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券		30,424,173	99.8
コール・ローン等、その他		50,000	0.2
投資信託財産総額		30,474,173	100.0

(注)評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注)アジア・ハイ・イールド債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(32,201,943千円)の投資信託財産総額(32,518,125千円)に対する比率は99.0%です。

(注)外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=109.31円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末
	2017年12月11日現在	2018年1月9日現在	2018年2月9日現在	2018年3月9日現在	2018年4月9日現在	2018年5月9日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	37,411,490,515	37,419,322,843	34,620,053,623	33,117,246,640	31,871,189,217	30,474,173,415
アジア・ハイ・イールド債券マ ザーファンド受益証券(評価額)	37,401,490,516	37,419,322,843	34,620,053,623	33,113,446,640	31,871,189,217	30,424,173,415
未収入金	9,999,999	—	—	3,800,000	—	50,000,000
(B) 負債	210,419,351	185,635,068	181,831,108	176,607,559	184,643,183	226,678,209
未払収益分配金	178,097,566	165,046,126	160,445,753	154,959,792	165,670,953	158,757,195
未払解約金	9,999,999	—	—	3,800,000	—	50,000,000
未払信託報酬	22,051,786	20,318,942	21,115,355	17,577,767	18,702,230	17,651,014
その他未払費用	270,000	270,000	270,000	270,000	270,000	270,000
(C) 純資産総額(A-B)	37,201,071,164	37,233,687,775	34,438,222,515	32,940,639,081	31,686,546,034	30,247,495,206
元本	27,827,744,795	27,973,919,664	27,194,195,540	26,717,205,688	25,886,086,414	24,805,811,814
次期繰越損益金	9,373,326,369	9,259,768,111	7,244,026,975	6,223,433,393	5,800,459,620	5,441,683,392
(D) 受益権総口数	27,827,744,795口	27,973,919,664口	27,194,195,540口	26,717,205,688口	25,886,086,414口	24,805,811,814口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,368円	13,310円	12,664円	12,329円	12,241円	12,194円

<注記事項>

期首元本額	27,061,157,580円	27,827,744,795円	27,973,919,664円	27,194,195,540円	26,717,205,688円	25,886,086,414円
期中追加設定元本額	834,047,709円	423,463,625円	160,143,712円	995,038,751円	125,012,174円	4,070,667円
期中一部解約元本額	67,480,494円	277,288,756円	939,867,836円	1,472,028,603円	956,131,448円	1,084,345,267円
各期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。						
未払受益者報酬	1,033,677円	952,452円	989,783円	823,959円	876,669円	827,389円
未払委託者報酬	21,018,109円	19,366,490円	20,125,572円	16,753,808円	17,825,561円	16,823,625円

○損益の状況

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2017年11月10日～ 2017年12月11日	2017年12月12日～ 2018年1月9日	2018年1月10日～ 2018年2月9日	2018年2月10日～ 2018年3月9日	2018年3月10日～ 2018年4月9日	2018年4月10日～ 2018年5月9日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 233,992,185	25,842,647	△ 1,571,621,196	△ 703,201,831	△ 43,698,928	59,948,794
売買益	767,141	27,533,224	38,425,365	28,774,400	6,428,434	67,827,613
売買損	△ 234,759,326	△ 1,690,677	△ 1,610,046,561	△ 731,976,231	△ 50,127,362	△ 7,878,819
(B) 信託報酬等	△ 22,321,786	△ 20,588,942	△ 21,385,355	△ 17,847,767	△ 18,972,230	△ 17,921,014
(C) 当期損益金(A+B)	△ 256,313,971	5,253,605	△ 1,593,006,551	△ 721,049,598	△ 62,671,158	△ 42,027,780
(D) 前期繰越損益金	△ 7,838,610	△ 437,844,491	△ 577,646,270	△ 2,205,311,191	△ 2,971,048,629	△ 3,065,385,467
(E) 追加信託差損益金	9,815,576,516	9,857,405,123	9,575,125,549	9,304,753,974	8,999,850,360	8,623,798,274
(配当等相当額)	(13,169,735,680)	(13,255,851,874)	(12,892,670,814)	(12,697,790,517)	(12,308,092,846)	(11,974,806,649)
(売買損益相当額)	(△ 3,354,159,164)	(△ 3,398,446,751)	(△ 3,317,545,265)	(△ 3,393,036,543)	(△ 3,308,242,486)	(△ 3,171,008,375)
(F) 計(C+D+E)	9,551,423,935	9,424,814,237	7,404,472,728	6,378,393,185	5,966,130,573	5,600,440,587
(G) 収益分配金	△ 178,097,566	△ 165,046,126	△ 160,445,753	△ 154,959,792	△ 165,670,953	△ 158,757,195
次期繰越損益金(F+G)	9,373,326,369	9,259,768,111	7,244,026,975	6,223,433,393	5,800,459,620	5,441,683,392
追加信託差損益金	9,815,576,516	9,857,405,123	9,575,125,549	9,304,753,974	8,999,850,360	8,623,798,274
(配当等相当額)	(13,172,658,685)	(13,257,228,395)	(12,893,337,138)	(12,699,546,623)	(12,308,345,522)	(11,974,822,379)
(売買損益相当額)	(△ 3,357,082,169)	(△ 3,399,823,272)	(△ 3,318,211,589)	(△ 3,394,762,649)	(△ 3,308,495,162)	(△ 3,171,024,105)
分配準備積立金	920,058,494	888,610,967	840,558,810	771,084,075	721,919,368	673,820,914
繰越損益金	△ 1,362,308,641	△ 1,486,247,979	△ 3,171,657,384	△ 3,852,404,656	△ 3,921,310,108	△ 3,855,935,796

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第72期計算期間末における費用控除後の配当等収益(154,788,321円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(13,172,658,685円)および分配準備積立金(943,367,739円)より分配対象収益は14,270,814,745円(10,000口当たり9,128円)であり、うち178,097,566円(10,000口当たり6円)を分配金額としております。

(注) 第73期計算期間末における費用控除後の配当等収益(142,764,142円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(13,257,228,395円)および分配準備積立金(910,892,951円)より分配対象収益は14,310,885,488円(10,000口当たり9,115円)であり、うち165,046,126円(10,000口当たり6円)を分配金額としております。

(注) 第74期計算期間末における費用控除後の配当等収益(142,117,312円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(12,893,337,138円)および分配準備積立金(858,887,251円)より分配対象収益は13,894,341,701円(10,000口当たり9,109円)であり、うち160,445,753円(10,000口当たり6円)を分配金額としております。

(注) 第75期計算期間末における費用控除後の配当等収益(130,842,081円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(12,699,546,623円)および分配準備積立金(795,201,786円)より分配対象収益は13,625,590,490円(10,000口当たり9,099円)であり、うち154,959,792円(10,000口当たり6円)を分配金額としております。

(注) 第76期計算期間末における費用控除後の配当等収益(144,101,215円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(12,308,345,522円)および分配準備積立金(743,489,106円)より分配対象収益は13,195,935,843円(10,000口当たり9,097円)であり、うち165,670,953円(10,000口当たり6円)を分配金額としております。

(注) 第77期計算期間末における費用控除後の配当等収益(140,896,060円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(11,794,822,379円)および分配準備積立金(691,682,049円)より分配対象収益は12,627,400,488円(10,000口当たり9,090円)であり、うち158,757,195円(10,000口当たり6円)を分配金額としております。

(注) 各期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
受託者報酬	1,033,677円	952,452円	989,783円	823,959円	876,669円	827,389円
委託者報酬	21,018,109円	19,366,490円	20,125,572円	16,753,808円	17,825,561円	16,823,625円

○分配金のお知らせ

	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
1万円当たり分配金(税込み)	64円	59円	59円	58円	64円	64円

<約款変更のお知らせ>

・平成30年1月31日付けで、法令の改正に伴い、信用リスク集中回避のための投資制限にかかる管理の方法を記載するため、信託約款に所要の変更を行っています。

GIMアジア・ハイ・イールド 債券マザーファンド (適格機関投資家専用)

第 13 期 運用報告書

(決算日:2018年5月9日)

(計算期間:2017年11月10日~2018年5月9日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
運 用 方 針	安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

(注)当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注)「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
9期(2016年5月9日)	19,380	△10.7		89.3	—	23,975
10期(2016年11月9日)	19,314	△0.3		94.9	—	26,961
11期(2017年5月9日)	22,122	14.5		94.2	—	28,446
12期(2017年11月9日)	22,968	3.8		95.2	—	39,001
13期(2018年5月9日)	21,379	△6.9		95.5	—	32,144

(注)債券先物比率は買建比率—売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落	率			
(期 首)	円		%	%	%	%
2017年11月9日	22,968	—	—	95.2	—	—
11月末	22,459	△2.2	—	97.5	—	—
12月末	22,712	△1.1	—	95.6	—	—
2018年1月末	21,906	△4.6	—	95.4	—	—
2月末	21,535	△6.2	—	93.9	—	—
3月末	21,156	△7.9	—	96.6	—	—
4月末	21,669	△5.7	—	97.5	—	—
(期 末)						
2018年5月9日	21,379	△6.9	—	95.5	—	—

(注)騰落率は期首比です。

(注)債券先物比率は買建比率—売建比率です。

投資環境

◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は下落しました。

- ◆期首から2018年1月中旬にかけては、米税制改革の実現への期待やFRB(米連邦準備制度理事会)が市場の予想通りに利上げを実施し底堅い米経済が確認されたことなどが注目された中、アジア・ハイ・イールド債券市場は概ね堅調に推移しました。
- ◆1月下旬以降は、北朝鮮情勢や米中貿易摩擦を巡る動きに加え、原油高などを背景にインフレ圧力が高まるとの見方から米長期金利が上昇したことなどに左右され、アジア・ハイ・イールド債券市場は下落基調で推移しました。

* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

◎為替市況

為替市場では、米ドルが対円で下落しました。

- ◆日銀による国債買入れオペ(公開市場操作)の減額を受けた量的緩和縮小観測から円高が進んだことに加え、米財政悪化への懸念などから投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景に、2018年3月にかけて米ドルは対円で下落しました。
- ◆その後は、米中貿易摩擦への懸念やシリア情勢など地政学的リスクの高まりなどがドルの重石となる場面も見られたものの、米長期金利の上昇や北朝鮮を巡る地政学リスクの後退などを背景に米ドルは対円で上昇しました。

運用経過の説明

◎基準価額の推移

基準価額の騰落率は-6.9%となりました。



◎基準価額の主な変動要因

保有債券の価格下落や米ドルが対円で下落したことなどがマイナスに寄与し、基準価額を押し下げました。

◎ポートフォリオについて

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。期を通じて、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高め維持しました。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆世界的に経済成長が継続していることなどから、世界の経済成長率は3.5%以上になると予想しています。
- ◆インフレ圧力の高まりやトランプ米政権による財政支出の拡大のほか、中国の景気動向などには留意が必要と考えます。
- ◆当社グループでは、予想を超えるインフレ率の上昇や日銀によるイールドカーブ・コントロール(長短金利操作)の終了などがなければ、FRB(米連邦準備制度理事会)は2018年に4回の利上げを行うと見えています。

◎今後の運用方針

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2017年11月10日～2018年5月9日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	1	0.006
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	1	0.006
期中の平均基準価額は、21,906円です。		

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2017年11月10日～2018年5月9日)

公社債

		買付額		売付額	
		千米ドル		千米ドル	
外国	アメリカ	国債証券	—		1,834
		特殊債券	3,376		26,997
		社債券	102,927		98,410 (5,448)

(注)金額は受渡し代金です(経過利子分は含まれておりません)。なお、単位未満は切捨てです。

(注)社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注)下段に()がある場合は一部償還金または利金の額面への追加・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2017年11月10日～2018年5月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2017年11月10日～2018年5月9日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年5月9日現在)

下記は、アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド全体(15,035,303千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	額面金額	当 期		末		残存期間別組入比率		
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	293,655	280,726	30,686,237	95.5	95.5	31.6	46.9	16.9
合 計	293,655	280,726	30,686,237	95.5	95.5	31.6	46.9	16.9

(注)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注)額面・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)評価については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入手しています。

(注)債券の格付については、原則としてS&PまたはMoody'sが提供する格付を使用し、仕組み債等、格付の提供がなされていないものについては、委託会社による判断を基にしております。なお、上記の格付機関が異なる格付を提供している場合は、低い方を採用しております。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	国債証券	SRILANKA 6.2% MAY27 REGS	6.2	200	186	20,332	2027/5/11
	特殊債券	FULL DRAGON HK 5.6%	5.6	3,400	3,304	361,165	2021/2/14
	(除く金融債)	GREENKO DUTCH4.875% REGS	4.875	4,500	4,266	466,355	2022/7/24
		HESTEEL HONG KONG 4.25%	4.25	4,900	4,817	526,583	2020/4/7
		INDUSTRIAL BANK VAR REGS	3.9	2,300	2,178	238,178	2049/7/29
	普通社債券	ABJA INVESTMENT 5.45%	5.45	2,800	2,458	268,743	2028/1/24
		ABM INVESTAMA7.125% REGS	7.125	3,000	2,792	305,211	2022/8/1
		AGILE GRP HLDGS 9%	9.0	600	626	68,456	2020/5/21
		ALAM SYNERGY 6.625%	6.625	2,200	1,970	215,399	2022/4/24
		ALAM SYNERGY 6.95% REGS	6.95	600	586	64,077	2020/3/27
		APL REALTY HLDG 5.95%	5.95	3,700	3,119	340,964	2024/6/2
		AZURE POWER 5.5% REGS	5.5	3,800	3,593	392,764	2022/11/3
		BANK OF COMM VAR	5.0	805	792	86,672	2049/12/29
		BAOXIN AUTO 6.625%	6.625	900	900	98,397	2019/4/2
		BAOXIN AUTO FIN VAR	8.75	3,900	3,954	432,217	2049/12/29
		BAOXIN AUTO FIN VAR OCT	5.625	500	462	50,520	2049/10/29
		BK EAST ASIA VAR EMTN	5.5	5,200	5,153	563,307	2049/12/31
		CHINA AOYUAN 5.375%	5.375	1,700	1,493	163,221	2022/9/13
		CHINA AOYUAN 7.5%	7.5	2,900	2,840	310,465	2021/5/10
		CHINA CONST BK VAR	4.65	2,200	2,165	236,701	2049/12/29
		CHINA OIL&GAS 4.625%	4.625	2,100	1,978	216,285	2022/4/20
		CHINA SCE PPT 10%	10.0	2,500	2,625	286,990	2020/7/2
		CHINA SCE PPT 7.45%	7.45	2,200	2,131	233,024	2021/4/17
		CHONG HING BANK VAR 49	6.5	4,900	5,000	546,583	2049/12/29
		CIFI HLDGS 6.875%	6.875	600	586	64,086	2021/4/23
		CIFI HLDGS VAR	5.375	4,900	4,456	487,182	2049/12/29
		CONCORD NEW ENERGY 7.9%	7.9	3,200	3,142	343,520	2021/1/23
		FANTASIA HLDGS 5.5%	5.5	2,600	2,594	283,569	2018/6/12
		FANTASIA HLDGS 7.95%	7.95	1,000	918	100,368	2022/7/5
		FANTASIA HLDGS8.375%REGS	8.375	3,300	3,157	345,118	2021/3/8
		FIRST PACIFIC 4.5% REGS	4.5	700	692	75,687	2023/4/16
		FORTUNE STAR 5.25%	5.25	3,600	3,371	368,504	2022/3/23
		FORTUNE STAR 5.95%	5.95	2,100	1,959	214,159	2023/1/29
		FRANSHION VAR	5.75	2,000	1,939	211,976	2049/12/29
		FUTURE LAND 5%	5.0	700	683	74,669	2020/2/16
		FWD GRP VAR EMTN	—	2,800	1,987	217,207	2049/12/29
		FWD VAR	6.25	3,300	3,275	358,089	2049/12/29
		FWD VAR 49	5.5	4,000	3,820	417,607	2049/2/28
		GCL NEW ENERGY 7.1%	7.1	3,500	3,258	356,228	2021/1/30
		GEMDALE 4.95%	4.95	4,100	3,887	424,928	2022/7/26
		GEMSTONES INTL 8.5%	8.5	5,400	5,421	592,587	2020/8/15
		GOLDEN EAGLE 4.625% REGS	4.625	3,400	3,037	332,020	2023/5/21
		GOLDEN LEGACY6.875% REGS	6.875	4,400	4,119	450,268	2024/3/27

銘柄		当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		%	千米ドル	千米ドル	千円	
アメリカ	普通社債券					
	GOME ELECTRICAL 5%	5.0	3,400	3,312	362,061	2020/3/10
	GREENLAND GLB 3.5% EMTN	3.5	1,000	968	105,860	2019/9/6
	GREENLAND GLB 5.875%	5.875	2,900	2,668	291,731	2024/7/3
	GREENLAND GLB 5.9% EMTN	5.9	2,600	2,443	267,108	2023/2/12
	GREENLAND HK 3.875% EMTN	3.875	1,500	1,467	160,454	2019/7/28
	GREENTOWN CHINA VAR	9.0	2,000	2,045	223,630	2049/1/29
	GUORUI 10.2%	10.2	6,300	6,301	688,825	2019/3/1
	ICBC VAR	4.25	5,500	5,198	568,210	2049/12/29
	INDIKA ENERGY5.875% REGS	5.875	700	628	68,732	2024/11/9
	INDIKA ENERGY6.875% REGS	6.875	2,500	2,437	266,410	2022/4/10
	INDIKA NRG 6.375% REGS	6.375	400	380	41,570	2023/1/24
	JIAYUAN INTL 8.125%	8.125	500	495	54,108	2019/1/17
	JIAYUAN INTL 8.25%	8.25	1,800	1,792	195,884	2018/11/14
	JSW STEEL 5.25%	5.25	3,700	3,592	392,750	2022/4/13
	JUBILANT PHARMA 4.875%	4.875	5,100	4,897	535,354	2021/10/6
	KNIGHT CASTLE 7.99%	7.99	5,400	4,942	540,319	2021/1/23
	KWG PROPERTY 6%	6.0	1,800	1,645	179,907	2022/9/15
	KWG PROPERTY 8.975% REGS	8.975	4,000	4,085	446,623	2019/1/14
	LANDSEA GREEN 9.625%	9.625	3,300	3,272	357,725	2020/4/25
	LIPPO/THETA 7% 22	7.0	2,700	2,408	263,306	2022/4/11
	LISTRINDO 4.95% REGS	4.95	1,000	912	99,738	2026/9/14
	LOGAN PROPERTY 5.25%	5.25	3,200	2,782	304,193	2023/2/23
	MAOYE INTL 7% EMTN	7.0	3,350	3,350	366,210	2018/10/23
	MEDCO PLATINUM6.75% REGS	6.75	2,100	1,906	208,443	2025/1/30
	MEDCO STRAITS 8.5% REGS	8.5	4,600	4,685	512,188	2022/8/17
	NEERG ENERGY 6% REGS	6.0	5,700	5,513	602,692	2022/2/13
	NEW METRO GLOBAL 4.75%	4.75	1,800	1,792	195,925	2019/2/11
	NEW METRO GLOBAL 6.5%	6.5	3,100	3,002	328,244	2021/4/23
	NWD FIN(BVI) 5.75%	5.75	2,900	2,579	281,999	2049/12/29
	OVERSEAS CHINESE VAR	4.3	3,800	3,693	403,768	2049/9/29
	PB INTL 7.625%	7.625	2,800	2,747	300,335	2022/1/26
	PETRON VAR	4.6	1,800	1,693	185,159	2049/1/29
	POSTAL SAVINGS VAR	4.5	5,400	5,067	553,936	2049/9/29
	POWERLONG 4.875%	4.875	1,300	1,159	126,751	2021/9/15
	PRESS METAL 4.8%	4.8	900	842	92,138	2022/10/30
	PTTEP TREASURY VAR REGS	4.6	3,200	3,107	339,707	2049/7/29
	ROCK INTL 6.625%	6.625	1,900	1,673	182,940	2020/3/27
	SHANDONG ENERGY 4.55%	4.55	3,800	3,682	402,492	2020/7/26
	SINO OCEAN LD VAR	4.9	1,400	1,253	136,999	2049/9/29
	SOECHI CAPITAL8.375% REGS	8.375	3,600	3,338	364,978	2023/1/31
	SSMS PLANTATION 7.75%	7.75	1,800	1,681	183,797	2023/1/23
	STUDIO CITY 8.5% REGS	8.5	5,000	5,062	553,392	2020/12/1
	TATA STEEL/ABJA 5.95%	5.95	1,900	1,860	203,339	2024/7/31
	TBLA INTL 7%	7.0	400	368	40,257	2023/1/24
	TEWOO GRP FIN 4.5%	4.5	2,700	2,674	292,359	2019/12/16

銘	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	普通社債券	TIMES PROPERTY 5.75%	5.75	3,400	3,099	338,792	2022/4/26
		TIMES PROPERTY 6.25% 21	6.25	2,300	2,199	240,416	2021/1/17
		TOP WISE 6%	6.0	3,600	3,503	382,954	2020/3/16
		VEDANTA 6.125% REGS	6.125	800	739	80,850	2024/8/9
		VEDANTA 6.375% REGS	6.375	1,200	1,171	128,013	2022/7/30
		VEDANTA 8.25% REGS	8.25	3,400	3,585	391,931	2021/6/7
		WELL HOPE VAR	3.875	600	553	60,519	2049/10/29
		WEST CHINA CEMENT 6.5%	6.5	5,400	5,486	599,777	2019/9/11
		WISDOM GLORY GRP VAR	5.25	2,900	2,831	309,476	2049/7/27
		WOORI BANK VAR REGS	5.25	2,000	1,947	212,828	2049/5/29
		WOORI BANK VAR REGS B	4.5	3,500	3,363	367,625	2049/12/29
		WTT INVESTMENT 5.5% REGS	5.5	3,400	3,246	354,884	2022/11/21
		YANKUANG 4.75%	4.75	2,300	2,191	239,506	2020/11/30
		YANLORD LAND 6.75%	6.75	3,600	3,565	389,714	2023/4/23
		YUZHONG PRPTY 6%	6.0	2,800	2,574	281,408	2022/1/25
		YUZHONG PRPTY 6% 23	6.0	3,300	2,902	317,273	2023/10/25
		YUZHONG PRPTY 6.375%	6.375	1,400	1,340	146,502	2021/3/6
		ZHONGRONG 7.25%	7.25	3,800	3,300	360,789	2020/10/26
合	計		—	—	—	30,686,237	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。なお、表示単位未満の場合は小数で記載しております。

(注) 株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

○投資信託財産の構成

(2018年5月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 30,686,237	% 94.4
コール・ローン等、その他	1,831,888	5.6
投資信託財産総額	32,518,125	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注) 当期末における外貨建純資産(32,201,943千円)の投資信託財産総額(32,518,125千円)に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=109.31円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年5月9日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	32,820,102,324
コール・ローン等	1,245,704,846
公社債(評価額)	30,686,237,422
未収入金	413,769,477
未収利息	470,544,536
前払費用	3,846,043
(B) 負債	675,547,481
未払金	615,547,473
未払解約金	60,000,000
未払利息	8
(C) 純資産総額(A-B)	32,144,554,843
元本	15,035,303,569
次期繰越損益金	17,109,251,274
(D) 受益権総口数	15,035,303,569口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,379円

<注記事項>

期首元本額	16,981,103,333円
期中追加設定元本額	1,618,143,931円
期中一部解約元本額	3,563,943,695円
元本の内訳	
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	14,230,868,336円
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	804,435,233円

○損益の状況

(2017年11月10日～2018年5月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,026,822,955
受取利息	1,026,587,412
その他収益金	262,344
支払利息	△ 26,801
(B) 有価証券売買損益	△ 3,697,271,163
売買益	6,688,079
売買損	△ 3,703,959,242
(C) その他費用等	△ 2,131,808
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,672,580,016
(E) 前期繰越損益金	22,020,611,114
(F) 追加信託差損益金	1,951,277,731
(G) 解約差損益金	△ 4,190,057,555
(H) 計(D+E+F+G)	17,109,251,274
次期繰越損益金(H)	17,109,251,274

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

・平成30年1月31日付けで、法令の改正に伴い、信用リスク集中回避のための投資制限にかかる管理の方法を記載するため、信託約款に所要の変更を行っています。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

マネー・リクイディティ・マザーファンド

第7期 運用状況のご報告

決算日：2017年7月18日

「マネー・リクイディティ・マザーファンド」は、2017年7月18日に第7期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	株式および外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 円	価 額		債券組入比率 %	債券先物比率 %	純資産総額 百万円
		騰	落 率			
3期(2013年7月17日)	10,029		0.1	94.8	—	263
4期(2014年7月17日)	10,035		0.1	96.8	—	495
5期(2015年7月17日)	10,036		0.0	93.0	—	519
6期(2016年7月19日)	10,036		0.0	66.9	—	165
7期(2017年7月18日)	10,031		△0.0	89.5	—	167

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

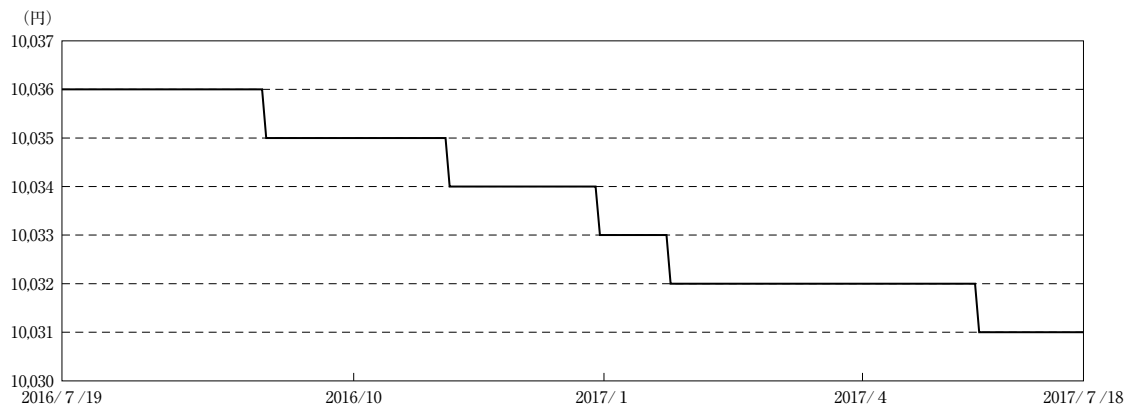
年 月 日	基 準 円	価 額		債券組入比率 %	債券先物比率 %
		騰	落 率		
(期首) 2016年7月19日	10,036		—	66.9	—
7月末	10,036		0.0	66.9	—
8月末	10,036		0.0	66.8	—
9月末	10,035		△0.0	66.7	—
10月末	10,035		△0.0	66.6	—
11月末	10,035		△0.0	97.0	—
12月末	10,034		△0.0	96.9	—
2017年1月末	10,033		△0.0	90.2	—
2月末	10,032		△0.0	90.1	—
3月末	10,032		△0.0	90.0	—
4月末	10,032		△0.0	89.8	—
5月末	10,032		△0.0	89.7	—
6月末	10,031		△0.0	89.5	—
(期末) 2017年7月18日	10,031		△0.0	89.5	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額の推移

(2016年7月20日～2017年7月18日)



○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・特にありません。

(主なマイナス要因)

- ・マイナス利回りの債券への投資がマイナスに寄与しました。

投資環境

(2016年7月20日～2017年7月18日)

短期金融市場は、日銀が2016年7月の金融政策決定会合において、経済・物価動向や金融政策効果の「総括的な検証」を行うと表明し、金融政策の先行き不透明感が強まったことから、1年国債利回りが-0.20%近辺へ上昇しました。9月には、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を導入したことから、1年国債利回りは低下し、その後は概ね-0.30%を挟み推移しました。しかし、2017年4月以降は、日銀が短期国債の買入残高を圧縮する姿勢を示したことから、1年国債利回りは上昇基調を辿り、-0.118%で期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2016年7月20日～2017年7月18日)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年7月20日～2017年7月18日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

(運用方針)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

〇1万口当たりの費用明細

(2016年7月20日～2017年7月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.002 (0.002)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	0	0.002	
期中の平均基準価額は、10,033円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

〇売買及び取引の状況

(2016年7月20日～2017年7月18日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	特殊債券	千円 201,675	千円 — (160,000)

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2016年7月20日～2017年7月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年7月18日現在)

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当			期			末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率				
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満		
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	千円 150,000 (150,000)	千円 150,139 (150,139)	% 89.5 (89.5)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 89.5 (89.5)	
合 計	150,000 (150,000)	150,139 (150,139)	89.5 (89.5)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	89.5 (89.5)	

(注) () 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘	柄	当			期			末		
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日					
特殊債券（除く金融債）		%	千円	千円						
第3回政府保証原子力損害賠償支援機構債		0.117	50,000	50,070	2018/5/23					
第37回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.9	100,000	100,069	2017/7/31					
合 計			150,000	150,139						

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2017年7月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	150,139	68.9%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	67,695	31.1
投 資 信 託 財 産 総 額	217,834	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年7月18日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	217,834,799 円
コール・ローン等	66,763,780
公社債(評価額)	150,139,320
未収利息	879,645
前払費用	52,054
(B) 負債	50,070,242
未払金	50,070,000
未払利息	116
その他未払費用	126
(C) 純資産総額(A-B)	167,764,557
元本	167,247,770
次期繰越損益金	516,787
(D) 受益権総口数	167,247,770口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,031円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,0031円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は165,254,546円、期中追加設定元本額は1,993,224円、期中一部解約元本額は0円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) ユーロコース	94,638,188円
欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) 円コース	26,700,315円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	23,913,912円
アジア ハイ・イールド債券オープン (為替ヘッジなし)	15,957,640円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	2,491,432円
アジア高利回り社債オープン (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	1,500,440円
アジア高利回り社債オープン (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	1,001,390円
ブラジル消費関連株オープン	542,113円
アジア ハイ・イールド債券オープン (為替ヘッジあり)	502,340円

○損益の状況 (2016年7月20日～2017年7月18日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2,392,998 円
受取利息	2,406,489
支払利息	△ 13,491
(B) 有価証券売買損益	△2,469,489
売買損	△2,469,489
(C) その他費用等	△ 3,458
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 79,949
(E) 前期繰越損益金	589,960
(F) 追加信託差損益金	6,776
(G) 計(D+E+F)	516,787
次期繰越損益金(G)	516,787

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。